

模型を使用しながら作業手順周知会を実施

鋼管矢板に設置する上部工の支保工は、H鋼等重量物が多く使用され、複雑かつ水中作業であるため、事前に模型を使用して手順の把握が出来る



実際に作業する手順を全員で確実に確認でき、設置・撤去解体時の作業の流れを周知することで、施工性・安全性をより向上させる。

